

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 3 月 9 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	燃料転換によるボイラー設備更新事業
承認番号	JCDM-PJ0117
排出削減事業者名	フクシマフーズ株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社
事業実施場所	フクシマフーズ株式会社 (福島県伊達郡桑折町大字成田字二本木 10-1)
事業の概要	A 重油から天然ガスに燃料転換を行い、ボイラー設備の更新によりシステムの省エネを図る。 既存のボイラーよりも高効率のボイラーに更新することによりエネルギー効率を改善し、化石燃料の消費量を削減する。また、A 重油から二酸化炭素排出係数の低い天然ガスに燃料転換することにより、CO ₂ 排出削減を行う。
排出削減量の計画	6,189 tCO ₂ /年 (2010 年度～2012 年度の平均) (事業実施期間合計 20,382 tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 12 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 12 月 1 日～2010 年 1 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画の「モニタリング対象指標のQA/QC」に基づき算定されており、適正であることを確認した。

排出削減量	698 t-CO ₂
--------------	-----------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<ol style="list-style-type: none"> 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 排出削減事業計画通り、事業が開始されていることを確認した（2009年12月1日）。 2) 対象期間中の設備稼働確認 天然ガスボイラーは実績確認期間中、継続的に稼働していることを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、天然ガスボイラーが導入されていること、及び本実績期間において導入設備が稼働していることを、モニタリング対象指標の実績により確認した。具体的には、天然ガスの使用量については、天然ガス供給会社から毎月送付される「天然ガス納付書」を担当者が記録・保管し、そのデータを元に正確に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認した。 2) 活動量の正確性 本事業においては該当しない。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承

	認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	算定期間は2010 年1月31 日までであり、2013 年3 月31 日を超えていない。

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算57.1klであることを確認した。

以上